

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 3 年 3 月 11 日 (2021.3.11)

【公開番号】特開 2020-81814 (P2020-81814A)
【公開日】令和 2 年 6 月 4 日 (2020.6.4)
【年通号数】公開・登録公報 2020-022
【出願番号】特願 2018-232017 (P2018-232017)
【国際特許分類】

A 6 3 B 71/02 (2006.01)

E 0 4 B 9/00 (2006.01)

【F I】

A 6 3 B 71/02 E

E 0 4 B 9/00 Z

【手続補正書】
【提出日】令和 2 年 12 月 18 日 (2020.12.18)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

屋内空間部の側面、天井面に沿って吊り張りされる防球・防護を目的とするネット、又は屋内空間部を避難用として複数に区画する区画用のシートを、移動自在に又は固定状態で吊り張りするネット又はシートの吊り張り用ロープにおいて、前記吊り張り用ロープが前記ネット又はシートを吊り張りする側面間、天井面の距離に応じて架け渡すことのできる長さに形成されたロープ本体と、該ロープ本体の少なくとも一端部取り付けられた連結具とから構成され、且つ前記連結具が、側面側、支柱、又は梁部分に予め固定する固定部と該固定部への固定連結部とから構成されていることを特徴とするネット又はシートの吊り張り用ロープ。

【請求項 2】

屋内空間部の所望の側面間、又は天井面の下方側に沿って複数本の吊り張り用ロープを架け渡した後、該吊り張り用ロープにネットを取り付けることで側面間、又は天井面に沿って防球・防護を目的としてネットを吊り張り、又は屋内空間部の対向する側面間に沿って複数本の吊り張り用ロープを架け渡した後、該吊り張り用ロープにシートを取り付けることで、屋内空間部を避難用として複数に区画するネット又はシートの吊り張り用ロープの架け渡し方法において、前記吊り張り用ロープを架け渡す際、前記吊り張り用ロープを形成するロープ本体の少なくとも一端側に取り付けられた連結具を前記側面側、支柱、又は梁部分に直接又は間接的に固定した後、前記ロープ本体の他端側を前記ネット又はシートの吊り張りする側面間、天井面の距離に応じて緊張状態で連結具を介して対向する側面側、支柱、又は梁部分に固定する、又はロープ本体の他端側をウインチ等を用いて緊張しながら対向する側面側、支柱、又は梁部分に固定することで吊り張り用ロープを屋内空間部に架け渡すことを特徴とするネット又はシートの吊り張り用ロープの架け渡し方法。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0012
【補正方法】変更
【補正の内容】

【 0 0 1 2 】

本願発明の上記課題を解決する手段としてのネット又はシートの吊り張り用ロープは、請求項 1 に記載のように、屋内空間部の側面、天井面に沿って吊り張りされる防球・防護を目的とするネット、又は屋内空間部を避難用として複数に区画する区画用のシートを、移動自在に又は固定状態で吊り張りするネット又はシートの吊り張り用ロープにおいて、前記吊り張り用ロープがネット又はシートを吊り張りする側面間、天井面の距離に応じ架け渡すことのできる長さに形成されたロープ本体と、該ロープ本体の少なくとも一端側に取り付けられた連結具とから構成され、且つ前記連結具が、側面側、支柱、又は梁部分に予め固定する固定部と該固定部への固定連結部とから構成されていることを特徴とする。

【 手続補正 3 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 3

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 3 】

また、本願発明の上記課題を解決する手段としてのネット又はシートの吊り張り用ロープの架け渡し方法は、請求項 2 に記載のように、屋内空間部の所望の側面間、又は天井面の下方側に沿って複数本の吊り張り用ロープを架け渡した後、該吊り張り用ロープにネットを取り付けることで側面間、又は天井面に沿って防球・防護用としてのネットを吊り張り、又は屋内空間部の対向する側面間に沿って複数本の吊り張り用ロープを架け渡した後、該吊り張り用ロープにシートを取り付けることで屋内空間部を避難用として複数に区画するネット又はシートの吊り張り用ロープの架け渡し方法において、前記吊り張り用ロープを架け渡す際、前記吊り張り用ロープを形成するロープ本体の少なくとも一端側に取り付けられた連結具を側面側、支柱、又は梁部分に直接又は間接的に固定した後、前記ロープ本体の他端側をネット又はシートを吊り張りする距離に応じて緊張状態で連結具を介して対向する側面側、支柱、又は梁部分に固定する、又はロープ本体の他端側をウインチ等を用いて緊張しながら対向する側面側、支柱、又は梁部分に固定することで、吊り張り用ロープを屋内空間部に架け渡すことを特徴とする。